



碧南ロータリークラブ週報

第2991回例会 令和3年9月29日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

- 第 2760 地区 ガバナー 沓名俊裕様
- 〃 地区幹事 細井英治様
- 〃 地区事務長 本間育子様

歓迎の辞 及び 会長挨拶

皆さん、こんにちは。本日は沓名ガバナーをお迎え致しまして、高浜 RC と碧南 RC 合同でのガバナー公式訪問となります。今年は碧南 RC が設営の年になりますので、両クラブを代表致しまして、大変僣越ながら私からご挨拶をさせていただきます。



新美雅浩会長

緊急事態宣言は明後日解除されますけれども、コロナで厳しい中、沓名ガバナーと細井地区幹事におかれましては、ようこそお越しくださいました。ありがとうございます。先に開かれました会長幹事会の会合でも大変忌憚のないご指導を賜りました。とても有意義な時間を高浜 RC と共有させていただきました。本当に感謝申し上げます。

高浜 RC と碧南 RC は 9 月に入りまして、緊急事態宣言下で他クラブが例会の取り消しをしている中、Zoom を使った粘り強い例会を続けております。会員同士の繋がりを少しでも感じていただく機会ということで、このような設営をしております。本日も Zoom を使って初めて高浜 RC と碧南 RC 合同での例会をさせていただくこととなります。沓名ガバナーの壮大な思いが画面の向こう側の会員の皆様に伝わるような設営をさせていただきましたので、本日はどうぞよろしくお願い致します。

コロナ感染拡大がようやく少し収まりつつある中でございますけれども、ワクチンを 2 回

接種してもブレークスルー感染があるという問題が昨今起きております。感染防止の為に、引き続きマスクを着用して日常生活をするということが強く勧められている訳でございますけれども、本日はマスクを着けないことによる気の緩みではなくて、マスクを着けたことによる気の緩みについて、最近耳にした話題を2つご紹介したいと思います。

マスク生活が長引きますと、様々な弊害が起きてくるということを聞いておりますけれども、特に代表的なものが口臭に悩む方が非常に増えているということを聞きました。マスクの着用で隠されることによって、口元が緩んでしまうことが原因だと言われております。マスクなしでは起こり得なかった現象だということなんですけれども、つまり、無意識に口で呼吸を行ってしまうことによって、口の中が乾燥してしまいまして、舌の表面に舌苔と言われる苔が広がってしまいます。その結果、唾液が分泌されにくくなってしまいまして、唾液が減ってしまうことで舌の細菌が洗い流されずに硫化水素が発生してしまいます。それが口臭の原因になるということをお聞きしました。この舌苔を克服する方法が、端的に言えば飴を舐めるということなんですけれども、口を閉じて1日数個の飴を舐めることで、唾液の分泌が促されて、硫化水素が発生しなくなるということでございます。

もう1つは急速に進む顔の表情の変化ということなんです。皆様はどうか分かりませんが、2年前より頬がたるんだり、目の下が緩んだりして全体的に下がってしまいまして、ほうれい線が長く、深くなる傾向があると聞いております。これはマスクを着用することによって、笑顔などの表情が抑えられてしまい、大頬骨筋が使われなくなるのが原因だと言われております。元々、人間の習性と致しまして、相手の表情を模倣するような機能がございまして、相手が笑うと自分も笑い、相手が悲しむと自分も悲しむということで、マスクの着用によってそういったことが行われなくなっているということでございます。これを克服する方法が、マスクを取っていただいて口周りの運動をすることで大頬骨筋が鍛えられ、ほうれい線が緩和されてくるということでございます。

以上2つがマスクを着用することで起こる弊害になります。まだまだ続くwithコロナ時代ということで、会員の皆様におかれましては、季節の変わり目を迎えておりますので、くれぐれもご自愛いただきますようお願い申し上げます。本日の歓迎の辞と会長挨拶にさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い致します。

委員会報告

<ニコボックス>

第2760地区ガバナー 沓名俊裕様、地区幹事 細井英治様、地区事務長 本間育子様
たくさん頂戴しました。

新美 雅浩君	}	沓名ガバナー様、細井地区幹事様、本間事務長様のご来碧を心より歓迎するとともに、心よりお礼申し上げます。本日は、よろしくお願い申し上げます。
森田 雅也君		
栗津 康之君		
伊藤 正幸君		

沓名ガバナーの御来訪を心より歓迎申し上げます。

ガバナー公式訪問

第 2760 地区 ガバナー 沓名俊裕様



沓名俊裕様

本日はガバナー公式訪問として、碧南 RC さん、高浜 RC さんにお邪魔できましたこと、誠にありがとうございます。そして、先程は会長幹事懇談会を開催させていただきました。新美会長、鈴木会長、栗津幹事、酒井幹事と有意義なお話をさせていただきました。感想から言えば、両クラブとも大変立派にクラブのことを真剣に考えておられて、前向きで明るく成長していくクラブにしようという心構えが、本当に私に伝わってきました。これからも大いに良いクラブにさせていただきますよう、私からもお願い申し上げます。

本日はハイブリッド形式の例会ということで、正面に Zoom での参加の皆さん方の顔がずっと見えるという設営は初めてでございます。これは本当に流石だなあの一言でございます。どうもありがとうございます。ここ碧南商工会議所の立派な会場をもって例会をされる訳ですけれども、私は安城商工会議所の現会頭でございますので、鈴木並生会頭には大変お世話になっております。また、平岩統一郎前会頭にも色んな面でご指導を賜っておりまして、尊敬する平岩統一郎前会頭でございます。そういった方が今年度は IM の実行委員長をやられるということで、大いに楽しみにしている次第でございます。そして、私を補佐していただける伊藤ガバナー補佐もお見えになりますので、本当に心強く、嬉しく思っております。

それでは、本題に入らせていただきたいと思います。最初に私の自己紹介でございますけれども、会社は株式会社東祥でございます。ロータリー歴は 1995 年の 1 月に入会しまして、26 年目でございます。会長、地区大会実行委員長、創立 60 周年記念事業実行委員長、そして、ガバナーノミニ、ガバナーエレクト、ガバナーということで、ガバナーになるまでに足掛け 4 年でここに来ている訳でございます。そして、今年の 2 月 1 日～11 日まで国際協議会に参加して、ガバナーを承認してもらおうという色々と時間が掛かってロータリーの色々な勉強をさせていただいております。

それでは、今年 1 番勉強させていただいておりますシェカール・メータ RI 会長をご紹介させていただきたいと思います。インドの西ベンガル州のカルカッタ-マハナガル RC 所属でございます。1984 年にロータリークラブに入会されておられますので、37 年目でございます。RI 理事、ゾーンコーディネーター、地区研修リーダー、地区ガバナーを歴任されまして、インド・ロータリー財団の理事長も務めておられます。超我の奉仕賞、ロータリー財団関連の表彰も数多く受賞されておられます。RI のテーマは「Serve to Change Lives」で、これを日本語にしますと、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」になります。これを実現する為の 1 つ目として、参加者の基盤を広げる為に「Each One, Bring One」ということで、各ロータリアンが新会員 1 人を入会させるようお願いされておられます。そうすることによって、2022 年 7 月 1 日までに会員数が 130 万人になるということでございます。2 つ目として、女性のエンパワメントに力を注ぎ、多様性、公平性、開放性という色んな形を取って、女性の地位向上というのをお願いされておられます。3 つ目として、ロータリー奉仕デーのイベ

ントの計画、開催をお願いされておられます。ロータリアンだけで楽しむイベントではなくて、25%以上はロータリアン以外の人たちを巻き込み、2つ以上のクラブが合同で開催し、メディアを活用して、ロータリーを広くPRしてほしいということでございます。

それで、私が地区方針として、「チェンジロータリー 新時代への成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～人類の危機を救うロータリーになろう！という言葉で、地区方針を掲げさせていただきました。まずは、「コロナゼロ・カーボンゼロ支援」という言葉ができた由来でございますけれども、1年前に考えた言葉でありまして、日経新聞のビル・ゲイツさんの記事を読みまして、世界は2大危機に陥っているということでございました。短期的に見ると新型コロナウイルス感染拡大、長期的に見ると地球温暖化ということで、この記事を読んで、私はコロナゼロ・カーボンゼロをロータリーとして取り組むべきだと確信しまして、このメッセージにさせていただきました。コロナにつきましては、来年の6月を目処にコロナゼロ目標というのを設定させていただきました。このゼロというのは、実質ゼロというふうに言っていたら結構だと思いますけれども、いわゆるワクチンができる、薬ができる、そして、コロナもあるでしょうけれども、「with コロナ」ということで、コロナと一緒にやっていける状態になるということでございます。環境問題につきましては、二酸化炭素の排出によって、地球温暖化が非常に進んでいる訳でございますけれども、これは2050年を目処に人類の危機を救うロータリーとして、皆さん方に邁進していただけたらと考えております。そして、ロータリーのゼロバッジというのを作らせていただきました。「We are one」ということで、84クラブのロータリアンが個別で動くのも地域貢献ですが、愛知のロータリアンが常時このバッジを着けてアピールしていただき、SDGsのように広がっていけばという思いでございます。

続きまして、行動方針についてですが、

① クラブの発展なくしてロータリーの発展なし

- ・地区84クラブがより元気になる為に地区として最善を尽くし応援していきます。
- ・地区、クラブが一丸となり、力合わせ行動を起こすことにより、内外に存在感を示すことができます。
- ・評価の高い、地域に貢献度の高いロータリーになることによって、人気が高くなり成長発展します。

② チェンジロータリー

- ・ポールハリスの友達を作ろうから115年経ち、今ビジョン声明、中核的価値観、行動計画と新しいロータリークラブに生まれ変わろうと努力しています。親睦を中心としたロータリークラブから奉仕ができるロータリークラブに変わろうとしています。時代の要求ニーズに合うロータリーに変化していくことが大切だと考えます。
- ・公共イメージ向上を考えた事業を行い、地域社会によりインパクトを与える。
- ・クラブ、地区委員会も今までとは少し違うやり方、考え方に変え、新しいことを取り入れる。
- ・内向きの奉仕から外向きの奉仕活動を意識した組織に変えることが必要と思います。特にクラブの組織については、奉仕活動に多くの人員を配置し、奉仕できる人的環境を

つくる。

ダーウィンの進化論の「最も強いものが生き残るのではない。最も賢いものが生き残るのではない。唯一生き残ることができるのは変化できるものである。」ということにあるようにこういったコロナの時代だからチェンジできる可能性が高いというふうに考えております。

③ 会員の基盤を広げよう

目標は第 2760 地区の会員を 5,000 名にするということでございます。7 月 31 日現在の会員数が 4,706 名ですので、約 300 名増やさなければいけません。300 名を 84 クラブで割り算してみますと、約 3.6 という数字が出てきますので、1 クラブ当たりの会員増の目標としては 3~4 名増やしていただけると、5,000 名という目標が達成できるということになります。シェカール・メータ RI 会長は「Each One, Bring One (みんなが 1 人を入会させよう)」と仰っておられます。私は「1 人が 1 人以上の人に声を掛ける」ということをしてもらいたいと考えております。そして、声を掛けようとしている人、声を掛けた人のリストを作っていただきたいと考えております。そして、地区の女性会員の比率を 6%から 8%にしたいと思っております。また、若い世代の入会も重要でございます。ローターアクト、学友を活用していきます。衛星クラブの設立にも力を入れていきたいと考えております。もう 1 つ忘れてはいけないのが、退会防止でございます。その最たるものとしては高齢会員でありまして、生涯ロータリアンという方が減ってきたのは非常に残念なことでございます。生涯ロータリアンになってもらう方策をクラブで考えていただきたいと思っております。また、3 年未満の新会員の退会防止についても、方策を考えていただきたいと思っております。

④ ロータリー奉仕デー

「コロナゼロ・カーボンゼロ支援」というテーマを活用して、84 クラブのロータリアンがロータリー奉仕デーに取り組んでいただきたいと思っております。それを統治することによって、84 の大きな大きな支援団体として一丸となれる訳ですので、愛知が動いたというふうになるのではないかと想定をしております。

⑤ ロータリアンとしての誇りを高めよう

ロータリーというのは、個人ではできないことをできるようにしてくれます。世界平和の為の活動、7 つの重点分野への活動など、1 人ではできないことがロータリーの組織、仲間とならできます。ロータリー財団、地区補助金、グローバル補助金、WF を活用し、地域だけでなく、世界規模での奉仕事業もできます。しかし、外へのアピールという面では、少々地味でありました。地域、世界に貢献していることを堂々と広くアピールするべき時だと思っております。そして、ロータリアン自身の誇りを持てるようになりたいものがございます。

⑥ ロータリーファミリーとの連携を強化しよう

ローターアクター、インターアクター、ライラリアン、青少年交換学生、米山記念奨学生たちの若い力を積極的に取り入れて、ロータリーの活性化を図りましょう。

⑦ ロータリー賞、ガバナー特別賞へ挑戦しよう

ロータリー賞は 6 つありますので、これをクリアしていただきたいと思っております。ガバナー特別賞も作っておりますので、参加資格をクリアしていただいて、挑戦していただきたいと思っております。

⑧ 国際大会へ参加しよう（アメリカ・ヒューストン）

2022 年 6 月 4 日～8 日に開催されます。多くの方々が参加していただきますよう、お願い致します。

以上 8 つでございます。

地区大会の PR ということで、11 月 6 日、7 日に開催されます。コロナ感染拡大が懸念されますけれども、ソーシャルディスタンスをしっかりとってやっていきたいと思っております。

クラブ活性化セミナーというのも 11 月 29 日に開催されます。公共イメージ、ロータリー財団、会員増強ということで、RI から是非ともクラブ活性化セミナーをやってほしいという要請でございました。これを通じて、84 クラブの皆さん方と勉強しながら、新しいクラブ活性化ができるようにと考えておりますので、是非ご出席をお願いしたいと思っております。

どうもご清聴ありがとうございました。

謝 辞

高浜 RC の鈴木でございます。杓名ガバナー、細井地区幹事、本日は大変お忙しい中、ご訪問いただきまして、貴重なお話を直接頂戴することができました。大変感謝申し上げます。

杓名ガバナーが仰ったことをメモを取っておりましたら、紙が一杯になってきましたけれども、いずれにしても、地区方針の「チェンジロータリー 新時代への成長に！」ということで、特にコロナゼロ・カーボンゼロを支援していくということが非常に耳に残っております。大変嬉しかったのが、来年の 6 月にはコロナゼロの状態になる可能性があるということでございます。現在、会員の皆さんと一緒に通常の例会や活動ができずに苦勞をしておりますけれども、これが実現できるように心から祈っている次第でございます。また、「We are one」ということで、ゼロバッジを着けて会員が 1 つになるということは大変良いことだと思っております、それを実践して、ロータリー全体がチェンジして、新しいロータリーの時代が来るように活動していきたいと思っております。

最後になりますけれども、新美会長からいただいたほうれい線のお話、大変参考になりました。これも憶えておきたいと思っております。本日は大変貴重で有意義な 1 日になりました。

本当にありがとうございました。



鈴木隆昭 高浜 RC 会長

次回例会案内

令和3年10月13日（水）

卓話「コロナ禍における食品業界の状況について」 会員 岡島晋一君

「コロナ禍でこそ出来た 資源ごみ立ち番の廃止

～令和2年度 浜尾区長 貝田隆彦」 会員 貝田隆彦君